



1月のすこやか教室

テーマ **がんについて学び、一緒に考えよう**

不安なことだらけのがん。でも、正しい知識があれば怖くない！
現場で活躍する専門看護師が、最新の情報を分かりやすくお伝えします。自分や家族の健康を考える、大切な時間にしませんか。

参加費無料、
申し込み不要

日時

2025年1月18日(土)
14:00~15:00

講師 上尾中央総合病院 がん患者支援看護科 看護師

場所 上尾中央総合病院 B館8階 会議室3+4

2月のすこやか教室

テーマ **STOP 脳卒中！**

脳卒中からあなた自身や大切な方を守るために、気になる食事の塩分量や効果的なエクササイズをご案内します。
可能であれば、動きやすい服装でご参加ください。リハビリテーションのスタッフと、一緒に動いて学びましょう！

日時

2025年2月8日(土)
14:00~15:00

講師 上尾中央総合病院
リハビリテーション技術科 理学療法士、
作業療法士、言語聴覚士

場所 上尾中央総合病院 B館8階 会議室1

お問い合わせ 上尾中央総合病院 総務課 Tel : 048-773-1112
URL : <https://www.ach.or.jp>

<https://www.ach.or.jp/generalinfo/sukoyaka/>



デジタルすこやか教室

動画のすこやか教室をおこなっています。
ご都合のいい時間に視聴いただけますので、
健康管理にお役立てください！

<https://www.ach.or.jp/generalinfo/aoc/>



LINE公式アカウント

公開講座のお知らせと、緊急時の情報をお届けします。
ぜひ、友だち登録をお願いします。
申し訳ありませんが、職員による登録のお手伝いはお受けしていません。

@acgh



高度な医療で愛し愛される病院

理念の展開方法

- 地域住民、地域医療機関と密着した医療
- 連携組織による24時間救急体制の実施
- 何人も平等に医療を受けられる病院
- 医療人としての自覚と技術向上のための教育
- 最新鋭医療機械導入による高度な医療
- 予防医学の推進に向けた健診業務

患者権利章典 患者さまの権利と責務

1. 医療を平等に受ける権利
2. 十分な説明を受ける権利(説明と同意および理解と選択の権利)
3. プライバシーが守られる権利(個人情報の保護)
4. カルテを知る権利(個人情報の開示)
5. セカンドオピニオンを受ける権利(情報収集の権利)
6. 良好で快適な環境で医療を受けられる権利
7. 健康教育を受ける権利
8. マナーや規則を守る責務
9. 自身の情報提供の責務
10. 権利章典を守る責務

臨床研修理念・基本方針

基本的診療能力を備え、
医療人としての品性と向上心を持ち、行動力、決断力、
コミュニケーション能力を有する医師を育成する。

- 救急総合診療科での救急研修(昼間および夜間での救急対応)、ならびに総合診療研修(病棟および外来)、離島・へき地の地域医療研修の3つの研修の柱とする。
- 各専門家研修においては、各科が扱う疾患の診療内容を理解し、基本的疾患の診療能力、各科へ適切に依頼する能力を習得する。
- 医療事故の未然防止と事後の対応法、および病院感染防止策を理解しマニュアルに従った行動できる能力を身につける。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。この冬、多くの映画が発表されています。それぞれの役者が演じる人間模様や大きなスクリーンに映りだされる景色は、何度見ても心を揺り動かされます。皆さんも、映像と音楽を脳と心に染みこませ楽しめる映画を探してみてください。今年も素敵な出会いがありますように。

編集長 平田 一雄



*見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院

〒362-8588 埼玉県上尾市柏座1-10-10 TEL048-773-1111 (代)
<https://www.ach.or.jp>

上尾中央総合病院

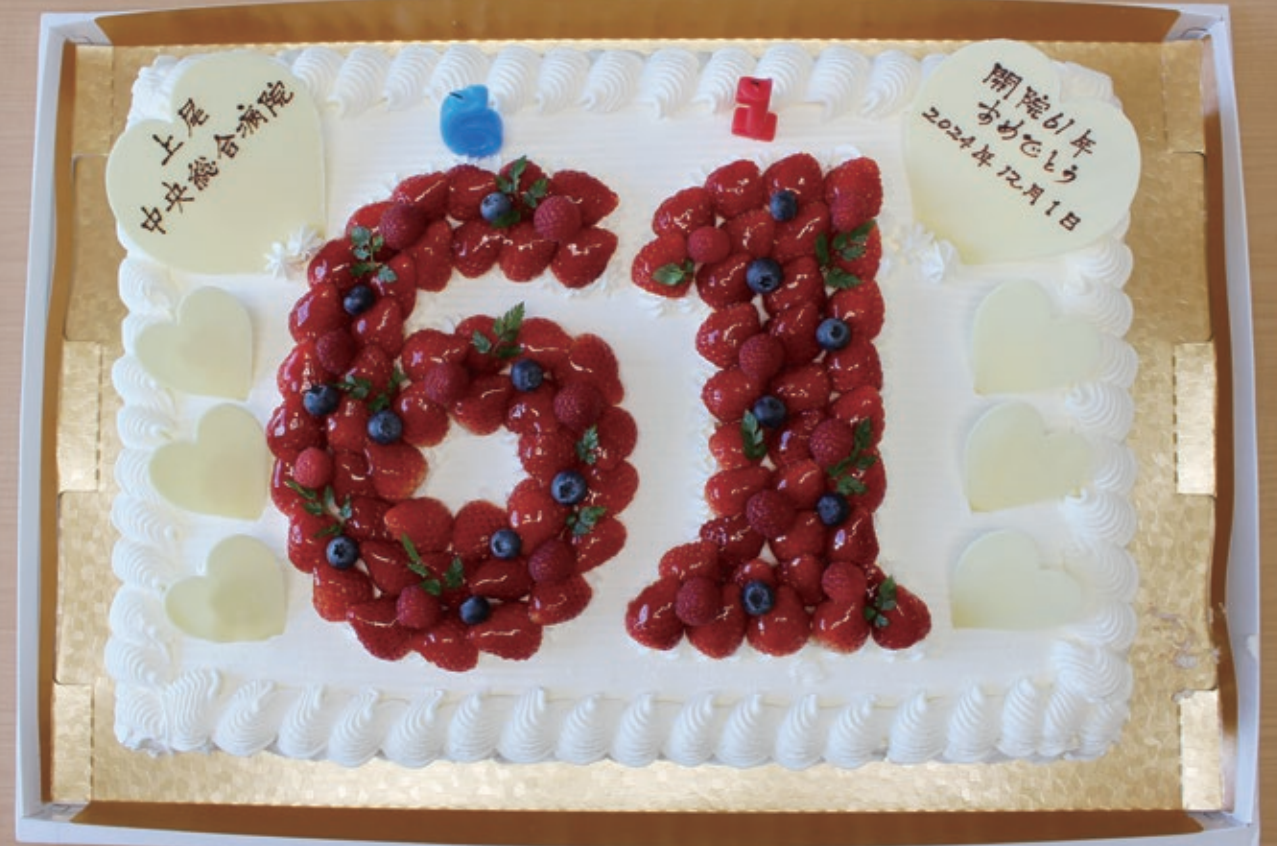
検索

■発行：上尾中央総合病院 ■発行人：徳永英吉
■編集者：平田一雄 ■編集：広報部会
■内容に関するお問い合わせは総務課広報係まで

文書番号 QJH005

アウंकウル

アウंकウルとは、アイヌ語で『隣人』という意味です。
皆さまのよき隣人でありたいという思いを込め、創設者中村秀夫の出身地、北海道にちなんで名づけました。



上尾中央総合病院は1964年12月1日の開院から、61年目を迎えることができました。
ささやかなお祝いの場に、当院近くのケーキ屋さん「ロボット」さんに作って頂いたケーキが華を添えてくださいました。
地域の皆さまに支えられ、寄り添い続けてこられたことに、心から感謝申し上げます。
これからも地域の皆さまの健康と安心を守るため、全力を尽くしてまいります。

● 2025年 念頭挨拶 院長 徳永 英吉

● 赤ちゃんへの初めてのプレゼント(抗体)を贈りませんか?

● 義肢装具外来

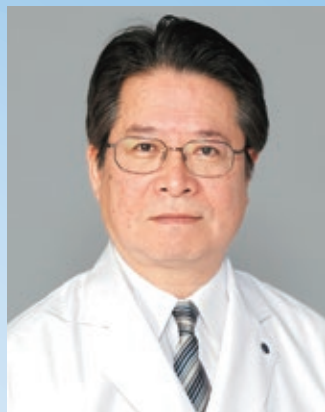
● INFORMATION 1月

● 1、2月のすこやか教室

● デジタルすこやか教室

● LINE公式アカウント

2025年 年頭挨拶



上尾中央総合病院
院長 徳永 英吉

明けましておめでとうございます。
新年のご挨拶を申し上げます。

昨年の元旦に発生した能登半島地震から一年が経過いたしました。いまだ復興には相当な時間を要するようですが、現地の方々が一日も早く元通りに近い生活が送れるよう心より願っております。震災発生後、石川県から要請があり、当院の災害派遣医療チーム（DMAT：Disaster Medical Assistance Team）を被災地へ派遣いたしました。2024年1月24日に当院を出発し、1月25日～27日の3日間にわたり七尾市で活動し、近隣施設を対象とした電気・水道関係のインフラ状況の調査やお風呂に入れていない方々への入浴支援等を行いました。今後も震災を含む災害発生時には、迅速に対応できるように日々の訓練を行ってまいります。

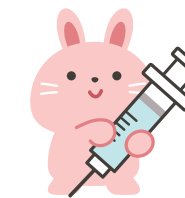
さて、本年はいわゆる「2025年問題」と言われる年です。高齢者人口は3,500万人に達すると推計されており、今後より一層医療の需要は増えるものと考えられます。一方で、少子化をはじめとする様々な要因で労働人口は減少していき、人材不足を補うために医療業界においてもAIの導入、遠隔システムやクラウドサービスを用いた情報共有など、情報通信技術（ICT）の活用がこれまで以上に期待されております。当院でも導入を検討しつつ、継続的に行ってきたタスクシフト・シェアを推進し、限られた医療資源を有効活用し、医療の質向上に努めてまいります。

また、昨年9月には国産初の手術支援ロボットである「hinotori™（ヒノトリ）」を新たに導入し、既存の「ダビンチサージカルシステム」3台（Xi 2台、SP 1台）と合わせて、4台の手術支援ロボットが稼働しています。より安全で質の高い医療を皆様に届けるべく、尽力してまいります。

今後につきましても健全な病院運営及び地域住民の皆様に求められる医療を継続して提供すべく、病院全体で一丸となり邁進してゆく所存でございます。

これからも皆様からのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

赤ちゃんへの初めての プレゼント（抗体）を贈りませんか？



RSウイルスは世界中に広がっており、生後2歳までにほとんどの赤ちゃんが感染すると言われています。生後6か月未満の赤ちゃんは重症化しやすく、さまざまな後遺症を引き起こす可能性があります。そのため、「赤ちゃんにとって驚異のウイルス」と呼ばれています。

当院では、かかりつけの妊婦さんにRSワクチン接種をお勧めしています。妊娠中に接種することで、胎児に抗体が移行し、生まれてくる赤ちゃんのRSウイルス感染リスクを軽減できます。

当院で出産予定の方限定とさせていただきます。
ママと赤ちゃんへの贈り物としていかがでしょうか。
詳しくは産婦人科外来にお問い合わせください。



義肢装具外来



リハビリテーションセンターでは、医師・義肢装具士・理学療法士による義肢装具外来を実施しています。義肢・装具の破損による修理、再作製依頼など、様々な対応を行なっています。義肢・装具は消耗品であるため破損することがあります。また、使用している「人」の身体も日々変化していくため義肢・装具が身体に合わなくなることもあります。そのため、長く使用すると様々な問題が生じることがあります。義肢・装具でわからないことがありましたら、些細な事でもご連絡・ご予約をお待ちしております。



日時 毎週木曜日
14:00～16:00

場所 7階リハビリテーション室

完全予約制です。
予約方法など、詳しくは当院ホームページをご覧ください。

<https://www.ach.or.jp/dept/general/rehabilitation/#section03>



義肢装具外来の様子